

■発行日：2024年2月29日  
 ■発行者：栃木県中小企業家同友会  
 〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉2-3-13  
 TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827  
 E-mail：t-doyu@ninus.ocn.ne.jp  
 URL：http://www.tochigi.doyu.jp/  
 ■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤礼堂印刷所



様

News Topic 01

栃木のNEWS 鹿沼日光支部1月例会

令和6年度中小企業支援策・税制・労基法  
 ～新年度に起る中小企業向け支援策・ルールの変化を知ろう～

2024年1月25日、鹿沼市経済部産業振興課商工振興係・税理士・社労士の三つの立場から新年度の法改正及び支援策が報告された。中小事業者が享受しうる政策にフォーカスした、まさしく実質的な内容だ。

まず鹿沼市経済部より、国の補助制度や鹿沼市の取組施策が報告された。国の補助制度については「事業再構築補助金」をはじめとした主たる補助金を明示していただき、鹿沼市の取組施策については市の掲げる「持続可能なまち」づくりを目指した施策から各分野に落とし込んだ具体策を紹介していただいた。

次に公認会計士・税理士の斎藤秀樹氏より、令和6年度の税制改正が報告された。令和5年12月に公表された経済産業省の資料を基に、賃上げ促進税制の拡充及び延長などを解説していただいた。その中で特に、交際費の除外要項について1人当たりの飲食費が5000円以下から1万円以下に引き上げられた点は各社への影響が大きいだろう。

最後に社会保険労務士の齊藤加居氏より、労務の2024年問題が報告



された。労働基準法・健康保険法・厚生年金保険法などの改正について解説されたが、その中でも社保の適用対象者拡大は見過ごせない内容だろう。今回の改定では従業員数51人以上の企業が対象だが、今後該当企業が拡大する恐れもある。企業が負担する社会保険額の増加は、経営方針を決める上で、計画段階から前提条件として入れ込む必要があるだろう。

本例会にて鹿沼市の職員らから直接施策を聞いたことは大変有意義であった。近隣市町村でも近い支援制度があったり市の直面する補助制度の欠点を聞けたりと、官民連携の重要性を改めて痛感した。  
 [文 (有)東光物産 林瑞子]

News Topic 02

栃木のNEWS 同友会を知る会（新会員オリエンテーション）

1月24日宇都宮市東市民活動センターを会場に「同友会を知る会」が行われた。

参加者は新理事を含めて栃木同友会役員が8名、新会員2名の構成だった。

司会は新会員のフォローアップを担当する福田忠史氏が行い、会は「同友会はどういうかい会か」という



福田忠史氏

ところから始まった。戦後まもなく行われていた傾斜生産方式など大企業偏重政策の中で、困難な経営環境にあった中小企業者達が、それでも人々の暮らしを支えているのは中小企業であり、「中小企業こそ日本経済の主人公である」その自覚と使命感で1947年に立ち上げられた全日本中小工業協議会がこの会の前身となる。そして、1957年自主的な中小企業運動を推進する方々が中心となり日本中小企業家同友

会（現・東京中小企業家同友会）を設立する。「天は自ら助くるものを助く」を旨に会員相互に学びあうことで強じんな経営体質を培う集団が生まれた。同友会はその誕生から自主的で、民主的な会なのである。

「知る会」は、自己紹介に移る。参加者一人一人の入会時の年齢と入会の動機が板書されていた。入会時の目的が現在も変わらないという役員もいたが、概ね変化していた。この会には変化させる力がある。「これまでは実務に流されていたが、同友会で学ぶうちに考えることの大切さに気付かされた」「これまでの自分は一つ一つのことが中途半端だった。学び方が中途半端だったからだとわかった。」など、新役員から自身の変化も伝えられた。

また、新会員からは「この会には答えが帰ってくる安心感がある」「今後も可能な限り参加したい」といった感想をいただいた。

「知る会」の開催は今年度2回に終わったが、新会員の「知る会」に参加してからの各行事参加率が非常に高い。参加した役員からは「次年度は隔月で行いたい」、「入会を考えている人にも積極的に参加していただく流れを作りたい」など、「知る会」の重要性を改めて確認できる会となった。

[文 事務局]



## News Topic 03

## 栃木のNEWS 県南支部2月例会

### 「この経営会議は素晴らしかった！」

今回の例会を通じての私の率直な感想である。自社の経営会議で、建設的な意見の上に建設的な意見が積み重なっていると感ずることができる会議は、少ないのではないと思う。

例会は、「(株)ケンナン 経営会議 Vol.3 ～議論で頭を使う夕べ～」というタイトルで、2024年2月21日、ゆめまち（小山城南市民交流センター）で、参加者11名で行われた。

これは「どのようにしたら栃木同友会県南支部を活性化させることができるか？」というテーマを、例会を会社の会議に見立てて、皆で分析し、それを元に話し合おうと始まった。

1回目では、「われわれの会は何をする会なのか」を皆で確認した。そして2回目では「何を学んでいきたいのか？」を出し合った。そして今回、「なぜ増強しなければならないのか？」というテーマで議論した。

このところ県南では、会員同士で仕事の課題を中心に、情報交換が活発に行われている。例えば、ある会員が近々労働基準監督署の立ち入り調査が入るという情報を流したところ、「このようなどころは要注意！」という情報が上がった。終了後の「このようなどころを注意された。」という情報には、「当社ではこのような商品を扱っているので一度検討したらどうか？」などの提案がでるなど、さまざまな情報が

回った。

こうしたことから、「人数が多ければ多いほど、より実戦的になっていくはずであるので、参加してくれる会員を増やしたらもっと楽しいはず」ということに皆が賛同した。

しかし、経営のことを考えると参加したい気持ちがあると同時に「いけない理由」も出てくるという意見があった。そもそも「学ぶ」という体験が、それまでの学校生活が苦痛でトラウマになっている経営者を知っていると参加者もいた。

そのような議論の中で「同友会の学び」とはどういうものかという議論になった。

ある会員から、「仕事さえ回っていれば会社は回ると考えていたが、やはり経営者としての学びが必要だと考えた」という意見がでた。

しかし同友会の学びは、「経営者のあるべき姿」が曖昧に感じるかもしれないが、「知りたい、理解したい」という気持ちを根底に、自分で考えていくことが大切で、みんなの経験を聞いて、それを自社にアレンジし、それらを生かすことが同友会の学びなのではないか」ということで大筋の意見がまとまった。

次回は支部総会で、以上のような議論を踏まえて、来年度学んでいくことを考えていきたい。

[文 八木仁 (株)シンデン]

2月2日、同友会事務局に於いて連合栃木との懇談会が行われた。連合側は吉成会長をはじめ5名、栃木同友会は八木代表理事をはじめ4名の計9名が参加し、事務局をフルに使っての会談となった。

懇談の話題は中小企業での給与のベースアップは行われているか、給与のベースアップに伴い、製品の価格転嫁は行われているか…といったここ数年の物価高、人材難、賃上げへの対応について終始した。

最初に働き方改革について経営者側から「働き方改革の方針に賃金の高い職場への人の流れを促進する動きがある。自社でも転職サイト登録者が多く、せつかく育てた人材が流失している。これに対処するためにも労働環境の改善が必要だが、一朝一夕



にできることではなく特に7割を占める中小企業の実態

を考えると課題は深刻である。」

価格転嫁に関して、「製造業では年度の前半は素材価格の上昇が毎月のように続き、半年に一度の価格交渉で対応してきた。」しかしながら、「賃金アップに対応する価格転嫁は難しい。業界によっては黒字率が30%を下回る所もあり、社員の賃金アップまで手が回らないといったところも少なくない。中小企業間においても賃金格差は広がっている。」といった報告もあった。

また、下請法に関するの矛盾、建設業に関しては入札制度の見直しなど、話題は尽きなかった。

連合栃木からの参加者は年々増えている。同友会の「社員の暮らしを守る」という視点は連合栃木の皆様にも共感を呼んでいる。とはいえ、経営に関する不確定要素が増えていく昨今、経営を維持、発展させていくのは困難だ。「良い会社をつくって対応するしかない」のつぶやきが心に残った。

[文 事務局]

## 有限会社みらいヘルスデザイン 築90年の店舗で祖母の営みを繋ぐ

唐木成仁氏の祖母が看護婦紹介を始めたのは戦後すぐの頃に遡り、看護婦紹介所としては草分け的な存在です。昭和51年有限会社唐木看護婦・家政婦紹介所を設立し、祖母・母を経て唐木成仁氏が継承。現在は有限会社みらいヘルスデザインとして有料職業紹介事業を始め、訪問介護・居宅介護・介護経営コンサルタント事業など、“健康”を軸に多岐にわたり活動されています。

氏は東京理科大学を卒業後、慶應義塾大学・立教大学の大学院を修了、健康マネジメントの博士課程及びMBAを取得しているスペシャリストです。これまでも「介護の資格を持ったコンシェルジュ」を配置したシニア分譲型マンション運営の取り組み、また、「とちぎ介護経営研究会」を主催し、介護事業者の学びあいの場をつくるなどなど、介護事業の様々な場面で活躍されています。

同社の経営の軸は“健康”、かかわっている人たち、自分自身、そして経営をヘルスデザインすることが使命です。介護職につく方々の生活がより向上するように、介護事業を営む企業が継続発展するように、学んできたこと、培ったあらゆるブレンを活用し、生まれ育った鹿沼に根を下ろし具現化しています。

唐木氏は新たなブレンの構築と視野を広げるため栃木同友会にご入会されました。豊富な情報量と知識で人材の獲得や維持のご相談にも対応いただけるとのこと、会員の皆様には栃木同友会の新しい辞書の1ページとしてお迎えください。

[文 事務局]



唐木成仁氏

# 栃木同友会3～4月行事予定表 参加のご連絡および内容確認は事務局にお問い合わせください

3月	曜	3月行事予定	時刻	会場	4月	曜	4月行事予定
1	金	関東甲信越ブロック事務局長会議	13:00～ 12:00	長生館（埼玉県秩父）	1	月	
2	土				2	火	2024合同入社式・研修会
3	日				3	水	第4回経営基礎講座第1講
4	月						鹿沼・日光支部幹事会
5	火	拡大理事会	18:00	宇都宮市東市民活動センター+ZOOM	4	木	栃木同友会2024方針討議
6	水				5	金	
7	木	中小企業問題全国研究集会in三重	13:00～ 12:00	三重県総合文化センター	6	土	
8	金				7	日	
9	土				8	月	
10	日				9	火	
11	月	合同入社式・研修会準備会	18:00	ZOOM会議	10	水	拡大理事会
12	火	栃木同友会2024方針討議	18:30	ZOOM会議	11	木	
13	水				12	金	
14	木	鹿沼・日光支部幹事会	18:30	板屋ビルチング+ZOOM会議	13	土	
15	金				14	日	
16	土				15	月	
17	日				16	火	栃木同友会2024方針討議
18	月	県南Web食堂	12:00	ZOOM会議	17	水	第4回経営基礎講座第2講
19	火	中同協第4回幹事会	13:30	ZOOM会議			県南Web食堂
20	水	春分の日			18	木	
21	木				19	金	
22	金				20	土	
23	土				21	日	
24	日				22	月	
25	月	栃木同友会2024方針討議	18:30	ZOOM会議	23	火	鹿沼・日光支部例会
26	火	県央支部総会	18:30	宇都宮市東市民活動センター	24	水	県央支部幹事会
		県南支部総会	18:30	ゆめまち			県南支部例会
27	水	第10回経営指針をつくる会準備会	19:00	ZOOM会議	25	木	
28	木	鹿沼・日光支部総会	18:30	板屋ビルチング+ZOOM会議	26	金	
29	金				27	土	
30	土				28	日	
31	日				29	月	昭和の日
					30	火	

※ は、該当者のみの参加となります。 栃木県中小企業家同友会事務局  
 〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉2-3-13  
 小山ハイツ103  
 は、どなたでも参加できます。 Tel 028-612-3826 Fax 028-612-3827  
 は、全国行事です。 E-mail t-doyu@ninus.ocn.ne.jp